

みなとぶ

地域の魅力を地元から発信

Takanawa Community News Magazine

高輪地区情報紙

三田4・5丁目・高輪・白金・白金台

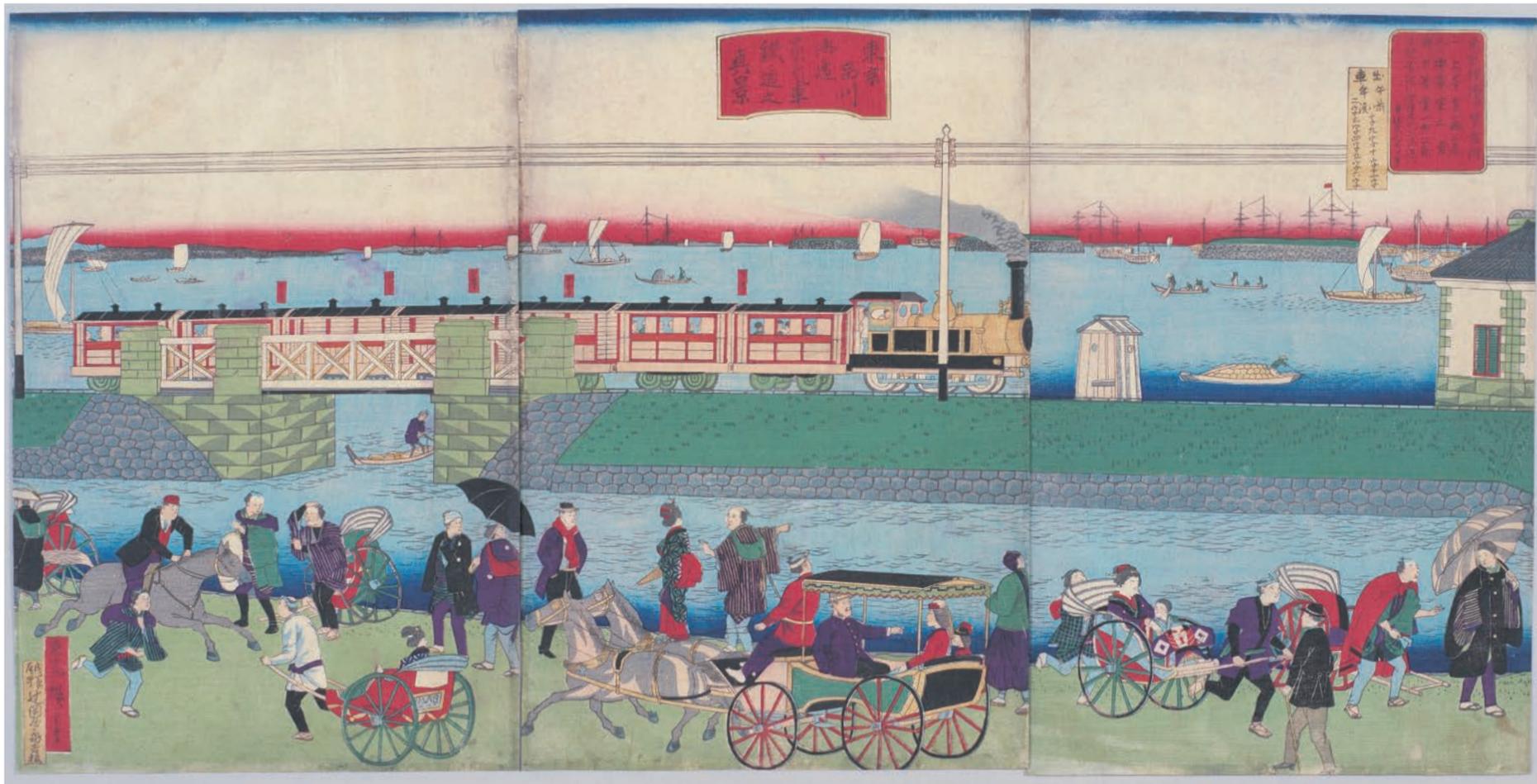
2025年3月

Vol. 54

発行: 高輪地区総合支所 協働推進課

編集: みなとぶ編集室

<https://www.city.minato.tokyo.jp/takanawachikusei/takanawa/koho/saishin.html>



東京品川海辺蒸気車鉄道之真景 (提供: 山口県立博物館)

TAKANAWA GATEWAY CITY

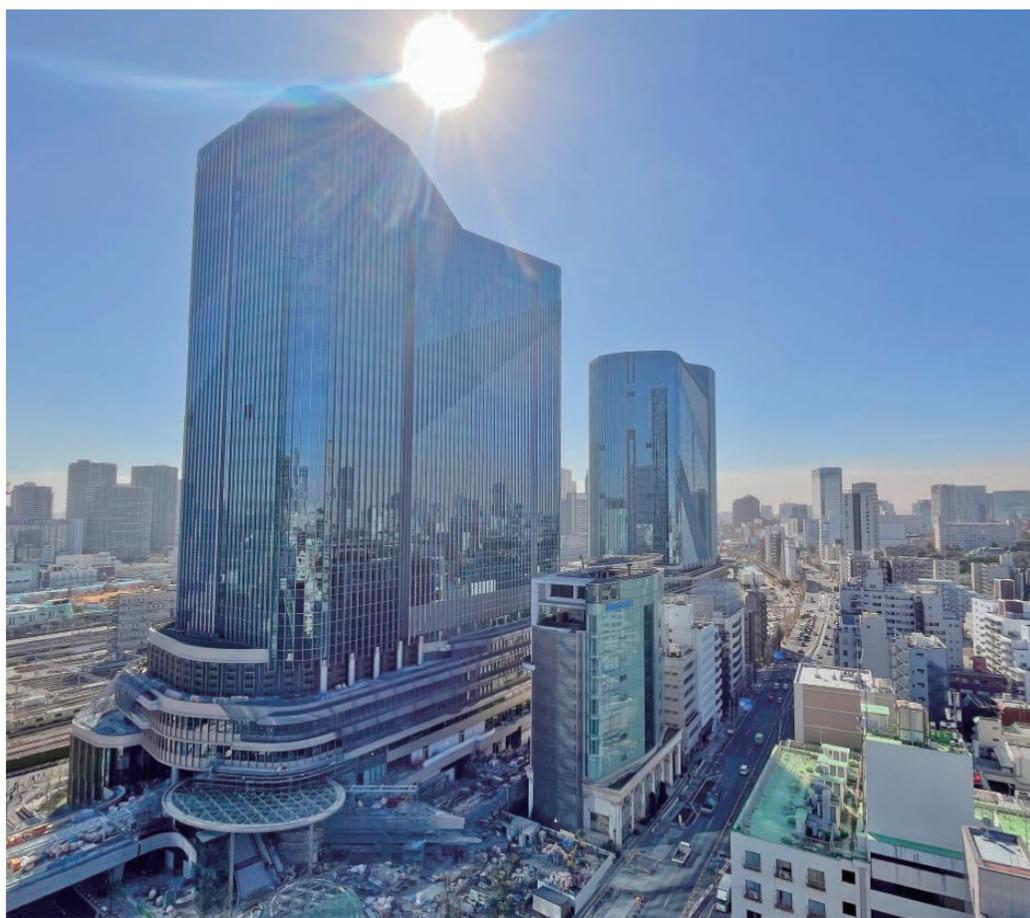
高輪ゲートウェイシティ

2025年3月27日、まちびらき!!

この高輪築堤に初めて鉄道が走ったのは明治5(1872)年。当時の人は、さぞ驚いて見ていたことでしょう。その時から、わずか150年余りで、この場所に巨大な街が出現しました。

この街はさらに、100年先の未来の暮らしを見据えて建てられています。これを当時の人が見たら、どう感じるでしょうか。

(文/安藤、写真/村田)



工事中のTAKANAWA GATEWAY CITY (2025年2月13日撮影)

CONTENTS

P2 街が変わる
TAKANAWA GATEWAY CITY

P3 この街にこの人あり
キルギス共和国オソエフ・エルキンベク大使夫妻

P4/5 地域のあしあと
幕末から明治にかけて活躍した
偉人たちの住まい

P6 わがまちの保育園紹介
太陽の子三田5丁目保育園
ミアヘルサ保育園ゆらりん高輪

P7 MUSIC 白金小学校合唱団
SPORTS RAINBOW GIRLS

P8 区からのお知らせ
クロスワードパズル

街が変わる

100年先の心豊かな暮らしのための実験場

TAKANAWA GATEWAY CITY



地域でのホップの栽培イメージ



高輪築堤を眺める広場の整備イメージ

いよいよ、令和7(2025)年3月27日にまちびらきを迎えるTAKANAWA GATEWAY CITYについて、JR東日本マーケティング本部まちづくり部門品川ユニット事業計画マネージャー・天内義也さんにお話をうかがいました。



天内義也さん

また、TAKANAWA GATEWAY CITYは地球が抱えるさまざまな社会課題に対し、「新たなビジネス・文化」「循環型社会のモデル」など、未来に資する解決策を街から生み出し、世界中へ発信していく拠点を目指しています。日本各地や世界にイノベーションをもたらしながら、100年先の心豊かな暮らしに向けた「地球益」の実現に取り組んでいるのです。

● 100年先の心豊かな暮らしのために

今回のまちびらきでは、高輪ゲートウェイ駅が全面開業、THE LINKPILLAR 1が開業となります。そして、令和8(2026)年春に、そのほかの棟が完成し、グランドオープンを迎えます。

開発のコンセプトは「100年先の心豊かな暮らしのための実験場」です。明治5(1872)年の鉄道開業の際に、海の上を初めて鉄道が走った近代化の礎を築いたのが、ここ高輪です。こうした土地の記憶を踏まえ、約150年前にイノベーションが生まれたこの地から、100年先の未来に向けたイノベーションを生み出す場を目指しています。

首都圏初進出のホテルや大規模商業施設がオープン

高輪ゲートウェイ駅正面のツインタワーTHE LINKPILLAR 1には、大手企業のオフィスや大規模コンベンション・カンファレンス施設のほか、新しい旅をデザインする新観光拠点「TAKANAWA GATEWAY Travel Service Center」が設置されます。令和7(2025)年秋には、SOUTH棟の高層階に「JW Marriott Hotel Tokyo」が開業予定です。

また、商業施設は全棟あわせて約60,000㎡、約200店舗で構成された「ニューマン高輪」がオープン。3月のまちびらきで一部先行開業、秋には、THE LINKPILLAR 1に約170店舗が開業します。



ニューマン高輪イメージ

● 地域との調和を大切に

私たちは、この地域との調和を大切に考えており、そのためのさまざまなプロジェクトを用意しています。

令和3(2021)年から開始しているホップを育てるコミュニティ活動「TAKANAWA HOPWAY」は、ホップを栽培してビールをつくることだけでなく、共同作業を行う過程で地域の皆さまとのつながりの輪を広げ、コミュニティを活性化させていくことを目的としています。

また、ビルの屋上で養蜂をしてはちみつを製造し、それを高輪ブランドとして販売します。

さらに、TAKANAWA GATEWAY CITY内にある樹木や草花の管理を地域の方々とともに進めます。

週末には、さまざまな音楽イベントやマルシェを行います。ぜひ、高輪の皆さまにも積極的に参加していただけることを期待しています。

● 街の遺産・高輪築堤の保存・活用

国指定史跡である高輪築堤については、鉄道開業当時の風景の再現を目指し、文献調査や現地調査などの結果から得られた知見を元に、第7橋梁部や発掘時に欠損していた箇所などの整備計画を進めています。

第7橋梁部の周辺には、高輪築堤を眺め憩える広場空間を整備します。また、隣接するTHE LINKPILLAR 2内で開設予定の(仮称)築堤ギャラリーでは、鉄道開業や日本の近代化の歴史を紹介します。ギャラリーの内装には、高輪築堤を支えていた木材(松杭)を活用します。

● 地域の交通手段の充実

高輪ゲートウェイ駅前広場には、車やタクシーの乗降口はもとより、バスの乗降口も設置予定です。将来的には路線バスなどの乗り入れも想定しています。また、敷地内には、シェアサイクルのステーションもできます。

駐車場、駐輪場も十分な台数を設置する予定です。地域を循環して走るAIオンデマンドモビリティ「みなりのり」も運行するようになり、地域の交通拠点としての役割を果たしたいと考えています。

● 地域の防災にも配慮

建物は十分な耐震性を確保し、電力は発電所と3つのルートでつながり、大地震でも停電することはありません。また、耐震性があるガス管を設置し大地震後でもガスの供給が可能です。さらに、1万人が3日間滞在できる食料と水を備蓄し、地域の方の災害時の利用も想定しています。

● 取材を終えて

TAKANAWA GATEWAY CITYは、南北約1.6km、10haにも及ぶ都内最大級の開発です。新たな商業、文化、ビジネス拠点として、地域に大きな影響を与えるものと予想されます。

また、マルシェや音楽イベント、まち歩きツアーなども考えられています。わくわくしますね。



広場マルシェ イメージ

まちびらきから体験できるサービス・イベント

3月27日(木) 12:00のまちびらきからTAKANAWA GATEWAY CITYが創造していく未来を体感できる、多彩な無料のサービスやイベントが、テーマ(未来・共創・地域・文化・環境・モビリティ・ヘルスケア・テクノロジー)に沿った約40コンテンツによって展開されます。詳しくはJR東日本ニュースのWebサイトをご参照ください。



この街にこの人あり



キルギス共和国 Kyrgyz Republic オソエフ・エルキンベク大使夫妻

キルギス共和国は、中央アジアに位置する内陸国です。かつてはシルクロードの西と東の交易路(交差点)で、その昔、三蔵法師が越えたとされる天山山脈に位置しています。中央アジアの中でも親日国として知られています。三田一丁目にあるキルギス大使館を訪れ、高輪にお住まいのキルギス大使ご夫妻に、お話をうかがいました。



Mr. Erkinbek Osoev, Mrs. Dzhamilia Soltbaeva
オソエフ・エルキンベク大使(左)、ソルトバエワ・ジャミーリヤ大使夫人(右)

大使のプロフィール

大学卒業後、運輸交通省でエンジニア関係の仕事に従事し、2007年～2009年の2年間横浜国立大学に留学してインフラ経営の修士号を取得。帰国後は日本のJICAとの協働プロジェクトの推進や大臣も務める。2023年1月に特命全権大使として日本に着任。

- 国土面積 199,900km²(日本の約半分)
- 人口 730万人(2024年)
- 首都 ビシュケク(Bishkek)
- 宗教 主にイスラム教スンニ派
- 言語 キルギス語が国語、ロシア語が公用語
- 主要産業 農業・畜産業(畜産加工物)、鉱業(金採掘)



ケル・スー湖(標高3514m)。キルギスと中国の国境近く、アクサイ渓谷の南部に位置する

—自然や国のあり方について教えてください

国土の約90%が標高1500m以上の山岳国家です。北東には、中国から続く天山山脈やその支脈があり、6～7月には、あちこちの山で高山植物が満開となり、素晴らしい風景が見られます。

1991年に旧ソ連から独立し、大国間とのバランスを保ち多国家との調和を重視しています。

—キルギスの主要産業や特産品などについて教えてください

比較的暖かい南方では農業が、寒く乾燥している北方では牧畜が、また鉱業が盛んで特にクムトール金鉱が有名です。特に、非加熱、天然の白い生はちみつは、特産品として世界的にも有名です。

近年では、観光産業に力を入れていて、リゾート開発なども進み、海外からの投資が増えてきています。今後、日本からの投資と企業参入を期待しています。

—キルギスの人々は、日本にどのような印象をもっていますか？



100%オーガニックのホワイトハニー、クリーミーなハチミツで、世界的に有名です

写真提供：信田陽吉さん(株)こぶた舎 港区役所主催の「みなと区民まつり」に毎年参加し、キルギス大使館のブースのお手伝いをしています

キルギスの人々は日本をとっても親しく感じています。「昔々、魚が好きな者たちが東に行って日本人になり、肉が好きな者たちが西に行ってキルギス人になった」という伝承があり、キルギス国民のほとんどが、この話を知っています。また、日本語とキルギス語は「文法構造(語順)」が似ているので言語面でも親近感があります。

—日本やお住まいの高輪での生活はいかがですか？

日本の便利さと美しさはどこに行っても感じられます。また、高輪の静けさと花々に囲まれた環境が大好きです。暮らしの魅力を一言で表すと、「静かで平和な環境と、美味しい食べ物、そして心温かい日本人との交流」ですね。

食文化にも大変感銘を受けました。特に新鮮なお刺身は格別で、お寿司、天ぷらなども好きです。キルギスは内陸国なので生魚を食べる機会はありませんが、日本で初めて食べてその美味しさに驚きました。

—奥さまは日本語が大変お上手ですが、日本語を学ばれたきっかけを教えてください

私は北方の村の出身で、2002年に母から「外交官になっては？」と勧められ、日本語学習を始めたのがきっかけです。

ビシュケク人文大学(現ビシュケク国立大学)で日本語と日本の歴史を勉強して、のちに同大学で日本語の講師となりました。日本語を通じて



ピンクの花「エスパルセット」が満開の時期、養蜂家がトレーラーにのせたミツバチを連れてきます。蜜源となるエスパルセットは、標高約2000mの高原で咲くので、害虫が少なく、殺虫剤の散布はしていません



イシククル湖(標高1609m)。琵琶湖の9倍の広さで、透明度は20mを超える。三蔵法師がインドへ行く途中、この湖で休憩した。北岸の Cholpon-Ata は、有名なリゾート地で、春や夏には、ロシアや近隣国から、多くの旅行客が訪れる

日本文化からは、日本人の温かさや思いやりを知ることができました。

—最後にメッセージをお願いします

キルギスと日本は友好関係を持つ国同士です。私たちはこれからもこの絆を深め、文化的および人的交流や協力関係をさらに強化していきたいと願っています。日本の皆さんにぜひキルギスを訪れていただき、その魅力を感じていただければうれしいです。

取材を終えて

大使ご夫妻の温かいお人柄や、質問に対し真摯にお答えいただくお姿に大変感銘を受けました。高輪地区では、四季折々、イベントやお祭りなどが開催されるので、気軽にご参加いただければうれしいです。



地域のあしあと

幕末から明治にかけて活躍した偉人たちの住まい

前号から2回にわたり、日本の近代化を支えた偉人たちの高輪の邸宅を紹介しています。今号では、近代日本政府の礎を築いた大久保利通の別邸と、渋沢栄一の従兄として実業界に名を残した渋沢喜作の邸宅を取り上げ、彼らが暮らした屋敷跡から歴史の足跡を探しました。

◇二本榎大久保利通別邸



二本榎別邸 出典:大久保家秘蔵写真〜大久保利通とその一族〜

大久保利通は、霞が関に洋風の本邸を構え、要人の接待などに活用した一方で、ここ高輪三丁目(当時の芝区二本榎西町)には和風建築の別邸を持っていました。この別邸は、囲碁対局の場として友人たちを迎え入れるプライベートな空間であったと同時に、同僚政治家と議論を交わし、日本の政治の未来を構想する場でもあったようです。利通による別邸に関する記述は、廃藩置県後の明治4(1871)年8月の日記に初めて表れます。同年11月岩倉使節副使として洋行、以降韓論政変、北京談判、西南の役という歴史的出来事の主人公をこの別邸は見守り続けています。

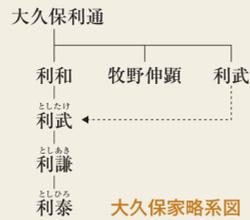
参考文献: 日本史籍協会書業「大久保利通文書」、「大久保利通日記」

大久保家の今昔

二本榎別邸の特徴は、およそ3万坪の広大な土地に設けられた農場にあります。利通は、殖産興業推進を目的に、西洋から収集した果樹を植えた試験農場を新宿、三田、駒場に開設しましたが、別邸にも農場を設け果樹を植えたのです。果樹園に囲まれた美しい環境の中で、激務の合間の家族団らんのひとときを過ごしたに違いありません。馬車で乗り回せる道も整備され、週末には子どもを馬車に乗せて一緒に場内を回ったといえます。利通の死後、本邸は手放されましたが、二本榎別邸は大久保家の邸宅として太平洋戦争終結後の昭和24(1949)年まで使われます。

現大久保家の皆さまに、この間の出来事について、うかがいました。

利通の跡を継いだ利武は、大阪府知事として赴任していた頃、ぶどうを本格的な産業として育成し、その結果、昭和初期には大阪府はぶどうの生産高が日本一になったといえます。利武の産業への貢献は、子どもの頃に馬車で回った父利通との記憶の上に生まれたものかもしれません。二本榎別邸の面影を示すものとして、当



大久保家略系図



明治24(1891)年二本榎別邸庭(ベンチ現存)。前列右端が次男の牧野伸顕、前列中央が長男の利和

時庭にあったベンチや利通が使用したという椅子が、現在でも使われているそうです。大久保家の皆さまの明るく快活なお話が印象的なひとときでした。

参考文献: 「大久保利通」佐々木克著(講談社学術文庫)



庭にあったベンチ 利通が使用した椅子 北京談判記念の品

◇維新の時代と現代をつなぐタイムカプセル

現在、二本榎に残されているのは、大久保家の祠のみです。この祠は、維新の時代と現在をつなぐタイムカプセルともいえるもので、NHK大河ドラマ「西郷どん」のエンディングでも取り上げられました。「みなとっぶ」30号に掲載されたこの祠の記事は、マンションの敷地内にある当初履歴不明だった祠について、同マンションにお住まいの大島さんが熱心に調査され、大久保家のものであることを明らかにした賜物です。残念ながら、現在祠は劣化が進んでおり、現代日本の基礎を造った大久保利通に関する貴重な史跡として、永続的に維持できるしくみの確立が望まれます。



大島美弥子さん



大久保家祠

◇高輪と大久保家の皆さまとのご縁

大島さんによる祠の調査により、高輪と大久保家とのつながりを知ることができました。「殖産興業や社会福祉政策の継承、利通が残した文書等膨大な史料の整理保存など、明治、大正、昭和にわたり、利武、利謙と代々大久保家に受け継がれてきたものは、高輪の地で培われていたのだと気がきました」と大久保家の皆さまは語られます。祠というタイムカプセルがつかない高輪の地と大久保家の皆さまとのご縁。史蹟が未来へつなぐ力をあらためて感じさせられました。

大久保利通略歴

薩摩藩士であった大久保は、幕末京都を活動拠点とし、慶応3(1867)年12月、岩倉具視とともに王政復古クーデターを断行、中央集権国家を成立させる。維新後、海外列強と肩を並べるべく、富国強兵、殖産興業政策を遂行。大政奉還派の後藤象二郎とは幕末期は政敵、維新後は藩閥を越え広く有能な人材の結集のため協力関係にあった。明治7(1874)年の台湾出兵では清国との講和を成立させ、海外列強における日本の地位向上に貢献した。明治11(1878)年5月の紀尾井町事件で不平士族によって暗殺された。



出典:大久保家秘蔵写真〜大久保利通とその一族〜

参考文献: 「大久保利通」毛利敏彦著(中公新書) / 「外政家としての大久保利通」清沢別著(中公文庫) / 「利通暗殺」遠矢浩規著(夜光社出版)



幕末・明治時代の偉人たちが愛した高輪の地

◇渋沢喜作と八芳園

八芳園に、お話をうかがいました。渋沢喜作は現在の埼玉県深谷市出身で、幕末から維新の激動の時代を生き抜き、転々と住居を変えつつ、晩年、白金今里町の住居(現八芳園)に住みました。江戸時代にこの地に屋敷を構えた大久保彦左衛門と同様に、渋沢喜作も静かな暮らしを求めてこの地に居を構え、その邸宅は茅葺きの門が奥ゆかしい瀟洒な佇まいだったそうです。当時、この地は梅園として整えられ、広大な庭には立派な梅が咲き誇っていました。現在も八芳園には数本の梅の老木が当時の面影を残しており、毎年その可憐な花が早春の訪れを彩ります。明治44(1911)年4月1日、喜作の三男義一の結婚式は白金今里町にあった渋沢喜作邸(現八芳園)で行われています。この時、渋沢喜作夫妻、渋沢栄一夫妻が写真に写っています。その翌年の大正元(1912)年に、渋沢喜作は亡くなっています。



渋沢喜作白金今里町邸にて。渋沢栄一と兼子夫妻、渋沢喜作とよし夫妻が前列に一緒に写る 澁澤家(「新屋敷」)所蔵

◇八芳園の歴史

八芳園は、東京・白金台にて江戸時代より続く広大な日本庭園を有し、敷地内に料亭とレストランを構え、結婚式場や宴会場として知られるようになりました。

◆江戸時代……旗本・大久保忠教(彦左衛門)の屋敷(園全域ではなく一部)でしたが、その後薩摩藩島津家(松平薩摩守)の屋敷となりました。
◆明治時代……渋沢喜作の所有になりました。
◆大正時代……実業家・久原房之助が渋沢邸を受け継ぎ、久原の情熱によって、現在の八芳園の礎となる都内屈指の大庭園が整えられていきました。戦後の混乱が取りつづあった昭和25(1950)年、のちの八芳園創業者となる長谷敏司らが久原の庭園と屋敷を借り、日本文化を伝える場所として料亭の経営を開始、久原自ら「八芳園」と命名しました。のちに長谷の所有となりました。

参考:八芳園公式ホームページ



八芳園正門



桜の名所として知られる現在の八芳園の庭園。喜作が住んでいた頃は梅園で、現在も八芳園では、数本の梅の老木が当時の面影を残し、うぐいすを誘うように花を咲かせています

八芳園は施設改修に伴い、令和7(2025)年2月から一時休館し、同年10月にリニューアルオープンを予定しています。「日本の、美意識の凝縮」をコンセプトに、庭園とともに長く在り続ける施設へと生まれ変わることでした。



渋沢喜作略歴

天保9(1838)年生まれ。渋沢栄一の従兄。2歳年上。共に、尾高新五郎に学ぶ。過激な攘夷論者。成一郎とも称した。喜作と栄一はそろって、一橋徳川家に仕官し、徳川慶喜の將軍就任と共に幕臣となる。戊辰戦争の際には影義隊を組織化した。その後函館五稜郭の戦いで敗れ、投獄される。明治4(1871)年、恩赦により、出獄。同年、大蔵省勸業課に出仕。明治5(1872)年、欧米諸国に派遣される。明治6(1873)年、帰国。民間の小野組に入り、次いで横浜の生糸売込問屋を経営。明治29(1896)年東京商品取引所理事長に就任。晩年は事業を長男作太郎に譲り、白金今里町の住居(現八芳園)に住む。資料: 「幕末維新埼玉人物列伝」小高旭之著(2008年さきたま出版会)より抜粋



出典:渋沢資料館所蔵

2号に渡り、高輪に居住した偉人の邸宅、生き方を紹介してきました。維新初期の高輪の地は、言わば明治新国家の新興邸宅地の趣がありました。それはこの地が江戸東京と続く都会の玄関口であったこと、東海道という幹線道路沿いの地であったこと、日本初の鉄道が敷設され近代化の拠点であったことに加え、昔ながらの海を臨む風光明媚な高台であったことなど、いろいろな要素が挙げられます。

古の偉人たちの活動に思いをさせ、その志を未来へとつないでいける場所——高輪は、まさにそのような恵まれた土地といえるのではないでしょうか。

前号(53号)の「地域のあしあと」の記事内で、誤りがありました。後藤象二郎略歴内 【正】 弥太郎の弟(弥之助) 【誤】 弥太郎の息子(弥之助) 関係者の皆さまには、大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

わがまちの保育園紹介

子育て支援の拠点となっている保育園ですが、それぞれに子どもたちの健やかな環境を考えた特徴があります。
ここではわがまち高輪地区の保育園を紹介します。

太陽の子三田5丁目保育園 私立認可保育園(定員60名) HITOWAキッズライフ株式会社

- 港区三田5-4-3
- 開設 平成27(2015)年4月



福島園長先生

「太陽の子三田5丁目保育園」は、東京メトロ南北線「白金高輪駅」から徒歩8分、都営三田線「三田駅」から徒歩10分の通りにあります。

福島園長先生に、お話を聞きました。

「近隣には、高校、消防署、交番のほか、いろいろな商店があり、地域に見守られている安心感があります。

園庭のない園ですが、毎日散歩へ出かけているため歩く力もついています。幼児クラスで

は、芝公園まで片道25分かけて散歩に行きます。そのほか、英語やダンス、お掃除など楽しみながら子どもたちの興味・関心を広げる教育コンテンツを取り入れています。

また、園があるビルの前にTOYOTAのショールームがあり、敷地内で遊ばせていただいたり、TOYOTAのつなぎを着てお仕事体験をさせていただいたりしています。

ワンフロアの保育園の良さとして、自分のクラスだけではなく、他のクラスとの交流が盛んであることが挙げられます。午後には大きいクラスと小さいクラスと一緒に散歩に行くことも頻繁にあります」

保育園の中を見学させていただき、大きいク

ラスから小さいクラスまで仲良く交流している子どもたちの姿が印象に残りました。

「だるま落としとバッグはどちも園長先生お手製の作品」



子どもたちは、だるま落としが大好き。椅子としても使用できる。ティッシュの箱を半分に折り(7個を使用)、周りを段ボールで補強したもの



小さいバッグは、布のガムテープで作成。散歩の時、道ばたで拾ったどんぐりや葉っぱをいれて



1歳児のクラス、ご飯前の本の読み聞かせを楽しんでいます



お仕事体験。気分はもうエンジニア



取材時には散歩の準備で、5歳児が1歳児に、靴をはかせていました

ミアヘルサ保育園ゆらりん高輪 私立認可保育園(定員101名) ミアヘルサ株式会社

- 港区高輪1-5-38 HUG高輪内
- 開設 平成27(2015)年4月



長柄園長先生

「ミアヘルサ保育園ゆらりん高輪」は、東京メトロ南北線「白金高輪駅」から徒歩5分、緑多い閑静な住宅街の中にあります。

長柄園長先生に、お話を聞きました。

「お天気の良い日は、園庭でいろいろな遊びを楽しんだり、近くの高松くすのき公園で散歩したりします。リズムック(1歳児のみ)、英語、ダンス、体操のプログラムが、月2回あります。

保育園のあるHUG高輪の敷地には桜の木

があり、春は桜のお花見、夏はプールで水遊び、秋は落ち葉拾いなど、四季を通して楽しめる環境にあります。七夕やハロウィンのお祭りも人気です。乳児室、年少組、年長組などの部屋がそれぞれありますが、イベントの時は部屋のしきりをとると、広いスペースとなり便利です。

昨年12月のクリスマス会では、地域のボランティアグループも参加してくださり、園児たちは大喜びでした」

保育園の中を見学させていただきましたが、正面玄関が明るく広く、階段のまわりに、園児たちのかわいい絵が飾られ、楽しそうでした。調理



節分イベントの出し物の練習中

室は半分がガラス張りになっていて、園児たちが調理の様子をガラス越しに眺めることができ、お昼ご飯やおやつを楽しみにしているそうです。



園庭では、子どもたちがはしゃぎまわります



クリスマス会で地域のボランティアグループとの交流もあり、子どもたちも大喜び!



給食室のガラス面には、野菜や果物の手作りイラストが貼られて、園児が食に興味をもてるよう工夫がされています



美しいハーモニーが育む大切な心のあり方

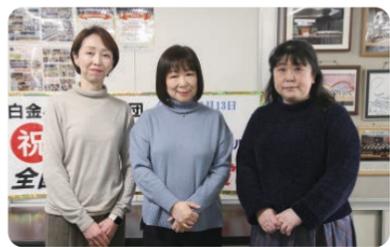
白金小学校
合唱団



NHK合唱コンクール

令和6(2024)年、第91回NHK全国学校音楽コンクール小学校の部で関東甲信越代表として出場し、全国418校の中から銀賞を受賞した白金小学校。11年連続で銀賞・銅賞を受賞し続けています。

13年前に合唱団を立ち上げ、現在も指導を続けている丸山久代先生にお話をうかがいました。



子どもたちの可能性を引き出す、丸山先生(中央)、吉岡先生(左)、平林先生(右)。情熱的な指導で導きます

●濃密な練習で心に響く歌声を追求

中学受験を目指す生徒が多いため、合唱団の練習時間は平日の月曜から木曜の朝45分間が中心です。さらに、コンクール直前には土曜午前に特別練習も行います。

「楽譜をよく読み、それをどう心に響かせるかを常に探求しています」と丸山先生。特に表現力に重点を置き、一人ひとりの魅力を活かすことで、パッチワークのように美しいハーモニーを作り上げています。限られた時間の中で、密度の濃い練習を通じて子どもたちの可能性を最大限に引き出しているのです。

●支え合う体制が生む成果

丸山先生の指導は、卒業生のお母さま2人とピアノ伴奏担当の2人、そして世話役のお母さま方の協力に支えられ、行われています。

「保護者の皆さまの協力や学校のサポートがなければ、この活動は成り立ちません。本当に多くの方々を支えられています」と丸山先生は感謝の気持ちを語ります。

●成長する姿にやりがいを感じる指導

丸山先生が最も喜びを感じるのは、子どもたちの成長を感じる瞬間だと言います。「歌声だけでなく、人間性が育っていく姿を見ると、本当にうれしくなります」。

また、合唱を通じて、「あいさつを大切にすること」「相手の気持ちを思いやること」「感謝の心を忘れないこと」など、人として大切な姿勢を伝



▲練習の始まりは、学年を超えたペアでのストレッチから。和やかな雰囲気の中で体をほぐし、素晴らしい歌声を引き出します



▶「上級生として困っている下級生にどう伝えればいいのか、いつも考えています」と語るお二人。優しさと思いやりに満ちた姿に心打られました



◀部屋中に響き渡る美しいハーモニーが、音楽室の空気を一変させ、深い感動を与えます



(担当/飯島、安藤)

えることにも力を注いでいます。

さらに、子どもたちの自主性を尊重し、上級生が下級生を育てる環境を大切にしているのも特徴です。

●練習を見学させていただきました

先生のとけばききた指導に合わせた、子どもたちの反応の速さに驚きました。

音楽室を包む力強く美しい歌声は、聴く者の心を大きく動かします。

「歌うのが好きだから」「姉の影響で」と理由はさまざまですが、合唱が大好きだという子どもたちの笑顔がとても印象的でした。



虹の煌きを「RAINBOW GIRLS」

数あるサッカークラブの中で、女子単独のチームは貴重です。思いっきりボールを蹴りたい少女たち。特に小学生の希望に応え、平成13(2001)年に結成され、白金周辺で活動している「RAINBOW GIRLS」をご紹介します。

よく晴れた冬のある日、練習にお邪魔して監督の柴崎栄一さん・ヘッドコーチの榎原利明さんお二人に、お話をうかがいました。

「男子と一緒にするのはあっても、女子だけでやりたい」との声を生かし、「明るく・元気に・楽しく」をモットーに活動されています。また、「ここをきっかけに、大好きなことに打ち込んでほしい」との思いをもち、活動されています。特に、頑張った子は褒めて、やる気を引き出すことを意識されているそうです。

この日の練習では、チームOGの社会人・中高生のお姉さんたちも加わって、蹴る・止める技術を丁寧にコーチしてもらい、その後、現役・

OGに分かれて試合が始まり、皆、一生懸命に、楽しんでプレーしていました。

さわやかな青空のもと、緑のグラウンドで思いっきりボールを蹴ることができるのは、とても貴重な時間でしょう。日頃の悩みを吹きとばし、体力も付いて、脳にもいい作用。さらに多くの仲間ができる…とくればこんなにいいことはありません。

学校のチームではないので、メンバーはいろいろな所から参加(現在部員は14名。かつてはインターナショナルスクールなどからも..)し、交流もできています。いつでもメンバー募集中



基本が大事



急いでディフェンスに戻る



シュートチャンスがうかがう

(担当/三富、村田、大友)



チームのHP



監督の柴崎さんと、ヘッドコーチ榎原さん

です。チームのHPもご参考にどうぞ。

春と秋に公式戦や、他に合宿・季節のイベントなど、運営の皆さんの「子どもたちが健やかに育ってほしい」という気持ちにあふれたチームでした。榎原ヘッドコーチの「彼女たちの笑顔を見られるのが、うれしい」という一言に、すべてを見た気がしました。家庭でも学校でもない、素敵な煌きがここにありました。



区からのお知らせ



高輪地区総合支所の公式X(旧ツイッター)では、地域のできごとをはじめとした様々な情報を発信中。ぜひフォローをよろしくお願ひします! @minato_takanawa



「高輪地区町会・自治会・マンション交流活性化プロジェクト」地域の「潤滑油」となる講座

講座内容 この講座は、お住まいの町会・自治会で活動する担い手の育成を目的としています。全7回の講座では、お住まいの町会・自治会との個別のマッチングを行うほか、町会・自治会のイベントなどを体験しながら地域の歴史や町会・自治会の課題などを学び合います。



対象 高輪地区総合支所管内 在住者

定員 20人程度(申込順) **費用** 無料

講座概要 5月から1月までの全7回(予定)

詳細は、港区ホームページ(4月1日更新予定)をご覧ください。

●お問合せ先

高輪地区総合支所 協働推進課 協働推進係 ☎03-5421-7621

コミュニティ・カフェ高輪

高輪地区CCクラブ、高輪地区総合支所協働推進課、高輪区民センターそして地域の方が協働で運営し、地域の方が自由に参加できるカフェです。高輪区民センター2階展示ギャラリー前では毎月第2・4金曜日13:30~15:30(8月と12月の第4金曜日は休み)で、ゆかしの杜の6階区民協働スペースでは毎月第3金曜日13:30~15:30(8月休み)で、HUG高輪では毎月第3火曜日(8月休み)にミニ講演会(14:00から)かカフェ(13:30~15:30)を開催しています。HUG高輪では毎月いろいろなイベントを企画しています。詳細は港区掲示板、高輪地区デジタルサイネージ、いきいきプラザなどのチラシでご案内します。



高輪区民センター2階展示ギャラリー前カフェ(2024年11月)

地域の方が交流できる場所としてコーヒーを飲み、そしてお話ができる場所です。気軽にお出かけください。

●お問合せ先

高輪地区総合支所 協働推進課 地区政策担当 ☎03-5421-7123

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。事前に確認ください。

区民課窓口サービス係 ☎5421-7612 / 保健福祉係 ☎5421-7085

令和7年度 港区民交通傷害保険に加入しましょう

港区民交通傷害保険は、少額の保険料で加入でき、車両による交通事故でけがをした場合、入院・通院の治療日数と治療期間に応じた保険金をお支払いする制度です。

自転車運転中の加害事故による損害賠償金などを補償する「自転車賠償責任プラン」をセットにしたコースもあります。

●対象…保険開始時点で区内在住・在勤・在学者

●保険期間…令和7年4月1日午前0時~令和8年3月31日午後12時

※中途加入の場合は、申込日の翌月1日午前0時~令和8年3月31日午後12時

●コースと保険料…補償内容に応じて1,200円~4,300円の保険料の7つのコースがあります。複数のコースへの加入はできません。詳しくは、各総合支所協働推進課で配布するリーフレットまたは港区ホームページをご覧ください。

●申込期間…令和7年2月3日(月)~令和7年3月31日(月)

※ただし、インターネットでの申し込みは2月1日(土)から受け付けます。

●申込方法

<窓口>区内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合・ゆうちょ銀行・郵便局)で配布する加入申込書に必要事項を明記し、保険料を添えてお申し込みください。町会・自治会等10人以上の団体加入は、最寄りの総合支所協働推進課へ。

<ホームページ>右の二次元コードからお申し込みください。インターネットでは、4月1日以降も中途加入の申し込みを受け付けます。

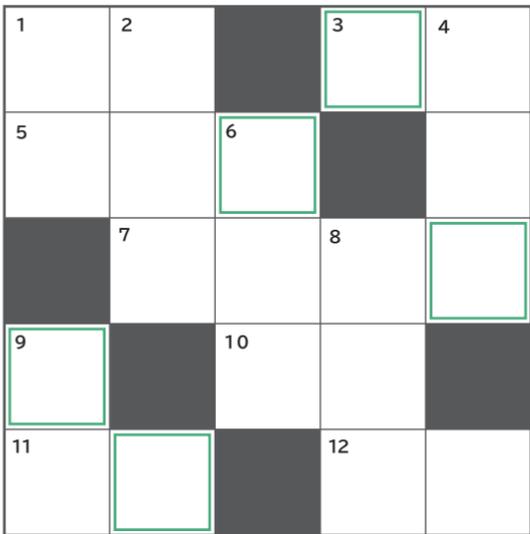


二次元コード

[引受保険会社] 保険内容について詳しくは、損害保険ジャパン株式会社公務文教営業部東京公務課(受付時間:祝日を除く月~金曜 午前9時~午後5時)へ。

☎03-3349-9666 ※承認番号: SJ24-12783 承認日: 2024/12/26

●お問合せ先 高輪地区総合支所 協働推進課 協働推進係 ☎03-5421-7621



タテのカギ

- 1 茶室や草庵の庭。また、門内や庭の通路。
- 2 圧力を加えること。圧力が加わること。
- 4 いろいろと種類の違ったものがあること。また、そのさま。
- 6 外国で命を落とすこと。『〇〇の鬼となる』
- 8 時の流れを年・月・週・日の単位で区切り、わかりやすくしたもの。
- 9 地面をおおっている雑草や蘚苔類。カバープラント。

ヨコのカギ

- 1 液体や気体を多孔質の物質に通して固体粒を取り除くこと。
- 3 自分の利害はさておき、他人に利益となるよう思いやりを持って周囲の人々に接する心のありよう。
- 5 魚がエサをよく食べる時間帯。
- 7 あとからさらに考えてみる。また、その考え。
- 10 悪口を言うこととほめること。『〇〇褒貶』
- 11 物事の説明や描写に、ある共通点に着目した他の物事を借りて表現すること。
- 12 神への供物また、天皇の食事の料。

□の文字を並べ替えると、ひとつの言葉が出てきます

答えはこのページの一冊下

クロスワードパズル

高輪縦横無尽

(担当/飯島)

区民編集
メンバー考案!

各支所で、地域情報紙(情報誌)を定期的に発行しています

- 芝地区総合支所「しばタグ」
- 麻布地区総合支所「ザ・AZABU」
- 赤坂地区総合支所「MYタウン赤坂・青山」

- 高輪地区総合支所「みなとっぶ」
- 芝浦港南地区総合支所「べいあつぷ」

支所内各戸配布のほか、港区立図書館(高輪図書館分室を除く)・各いきいきプラザで閲覧することができます

本紙のバックナンバーは港区ホームページ(高輪地区総合支所のページ)からもご覧になれます。

みなとっぶ バックナンバー 🔍

編集だより

54号

※この情報紙は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくられています。

区民編集メンバー

※50音順

- 安藤 洋一(チーフ) 佐々木 智秋
- 大友 登喜雄(サブチーフ) 清水 徹夫
- 阿部 泰 田中 康造
- 飯島 真弓 平尾 恭一
- 岡田 薫 三富 和則
- 川野 まりえ 村田 志織里
- 小林 由夏 米山 ノリコ

▶ 寺社や地域の催事が活発となってきました。地域の方々に事前に情報を提供できればいいな、と思っています。(阿部)

▶ 高輪地区には、過去、現在、未来にわたり、豊富に話題があります。これからも、これらの話題を少しずつでもお伝えできればと思います。(安藤)

▶ クロスワードを縦横に巡るように、明治の高輪、未来を紡ぐ子どもたちの歌声、キルギス大使ご夫妻の温かいお人柄に触れる取材となりました。(飯島)

▶ キルギス大使ご夫妻を取材し、温かいお人柄や、質問に対し真摯にお答えいただく姿に感銘を受けました。(大友)

▶ 明治初期、政府要人や実業家の屋敷があった高輪。二本榎通りは馬車が行き交う道だったのでしょか。往時に思いをはせるのも楽しいですね。(岡田)

▶ どの保育園も、いろいろ工夫されていて、お昼ご飯も美味しそうでした。自分の子育て時代を思い出し、「うらやましい!」の一言でした。(川野)

▶ TAKANAWA GATEWAY CITYの取材に参加しました。新しい街の創造にワクワクしました! 防災対策も、本当に心強いです!(佐々木)

▶ 高輪ゲートウェイシティ、大きな街が生まれそうです。地域との調和が進み、より快適な高輪地区への進化を期待しています!(清水)

▶ この活動を通じて、高輪発の人と人とのつながり、過去・現在・未来のつながりを実感!(田中)

▶ キルギス大使ご夫妻の取材に参加しましたが、夫妻が日本に大変好意をもっておられることを強く感じて、うれしく思いました。(平尾)

▶ この世にスポーツというものがあるって幸せです。(三富)

▶ 1年本紙に関わらせていただいて発見の連続です。地域の皆さまのパワーを感じます。(村田)



買い物
するなら
地元の
商店街で